

令和4年度 経営改革プラン

団体名	神戸高速鉄道株式会社		
設立年月日	昭和33年10月2日		
団体の設立目的・沿革	4電鉄（阪神、阪急、山陽、神鉄）のターミナル駅を結び、相互直通運転をすることによって、市内の交通の不便を解消すること等を目的とし、株式会社（第3セクター）方式で設立、昭和43年4月に神戸高速線の営業を開始した。		
団体の主な事業内容	事業名	所管課	
	第三種鉄道事業（神戸高速線）	自主事業	
	駅賃貸業	自主事業	
	付帯事業	自主事業	
代表者	代表取締役会長 梶川 龍彦、代表取締役社長 久須 勇介		

役職員数 (令和3年7月1日時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-	-	-	-
市派遣職員	-	1	-	-	-	-	1
市OB職員	1	-	-	-	-	-	1
その他	3	4	-	1	6	5	19
合計	4	5	-	1	6	5	21

財務状況（単位：百万円）	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	348	355	△ 7
税引後当期純利益	348	266	82
販売費及び一般管理費	1,435	1,817	△ 382
流動資産	2,797	562	2,235
流動負債	3,323	3,655	△ 332
長期借入金（固定負債）	11,759	33,962	△ 22,203
期末現金預金残高	0	0	0

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	鉄道の安全確保
ミッション②	健全な経営の維持
ミッション③	鉄道利用者（市民）の利便性・快適性の向上

■ 短期的なミッション（令和 4 年度のミッション）

ミッション①	神戸高速地下街（メトロこうべ）の活性化
--------	---------------------

■ 経営指標（令和 2 年度）

経営指標				令和元年度	令和 2 年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	37.962	57.970	20.0ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	2.28%	2.28%	0.0ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	0.79%	1.54%	0.8ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	436.67%	69.05%	-367.6ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	15.38%	84.18%	68.8ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	1.60%	4.74%	3.1ポイント
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	36.89%	32.56%	-4.3ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	36.89%	32.56%	-4.3ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション													
鉄道	鉄道の安全確保	鉄道の安全の確保に努める（継続）											
	健全な経営の維持	有利子負債を着実に返済する等により健全な経営状況を維持する（継続）											
	鉄道利用者（市民）の利便性・快適性の向上	維持管理を適切に行い、保有する駅施設等を適切な状態に保つ（継続）											
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
神戸高速地下街（メトロこらべ）の活性化		中央広場等を活用して定期的にイベントを実施する											
		★ 新開地音楽祭の会場として使用 ※その他のイベント実施時期は現時点では未定（年4回程度実施予定）											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	①有責鉄道運転事故0件の継続 ②神戸高速線の有利子負債残高84億円（令和7年度末） ③補助事業で取得した駅施設等を適切に保有 ④神戸高速地下街の活性化に資する定期的なイベントの実施等
	①有責鉄道運転事故0件の継続	
	・第二種鉄道事業者（阪神・阪急・神鉄）と連携して、安全の確保に努める	
	②令和7年度末の神戸高速線の有利子負債残高84億円	
	・神戸高速線に係る有利子負債を着実に返済する	
	③補助事業で取得した駅施設等を適切な状態で保有	
・鉄道事業者（阪神・山陽・神鉄）と連携して、施設等の維持管理を適切に行う		
④神戸高速地下街の活性化に資する定期的なイベントの実施等		
・中央広場等を活用して、年5回程度のイベントを実施		

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

- ・ 鉄道の安全の確保に努め、有責鉄道運転事故0件を継続した。
- ・ 神戸高速線に係る有利子負債を計画通り着実に返済し、健全な経営状況を維持することができた。
（神戸高速線に係る有利子負債の期末残高：約97億円）
- ・ 第二種鉄道事業者（阪神・阪急・神鉄）と連携しながら、保有する駅施設の維持管理を適切に行った。

（2）短期的ミッションの達成状況

- ・ メトロこうべの活性化に向けた取組みとして、中央広場等を活用し、定期的にイベントを実施した。
（新開地音楽祭等コンサートを16回開催、写真展示を2回実施。）

（3）市政への貢献・市民への還元状況

- ・ 市民の足を支える重要な交通網を保有し、第二種鉄道事業者と連携して安全の確保に努めた。
- ・ 中央広場を活用して定期的にイベントを実施することで、地域の賑わい創出に貢献した。

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

（1）総合的意見

各ミッションにおいて、目的の実現に向けた取組みを着実に実施しており、期待通りの進捗と言える。

（2）数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	市民の足を支える公共交通機関としての役割を果たしつつ、有利子負債の着実な返済により健全な経営を維持している。
短期的ミッション	中央広場等でのイベント実施により、メトロこうべ活性化の取組みを着実に推進している。
団体目標	目標回数よりも多くのイベントを実施するなど、団体目標を達成している。
市への貢献・市民への還元状況	上記のとおり、市民の足を支える公共交通機関としての役割を果たすとともに、市と連携した地域の賑わい創出の取組みなど市政へ貢献している。

（3）今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取組みが着実に実施され成果が上がっている団体